

# こんにちは うみ議会です

2025.8.7

No. 98

うみ議会だより  
6月定例会

うみ  
議会だより

第98号

発行/福岡県宇美町議会  
編集/議会広報常任委員会  
印刷/松影堂印刷(株)  
発行日/令和7年8月7日

〒811-2192

福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号  
TEL: 092-934-2248 FAX: 092-933-2281  
E-mail: gikaiboutown.umi.lg.jp

表紙にも掲載  
しています

議会広報

子どもたちの笑顔とそれを支える方々にスポットを当てていきます

インタビューシリーズ

第17弾

宇美八幡宮子安書道大会  
七夕揮ごう会

7月5日(土)、宇美八幡宮境内にある子安館において、第20回宇美八幡宮子安書道大会七夕揮ごう会が開催され、85人の小学生が参加しました。

筆で字を書くことを楽しんで

伊藤宮司は「子どもたちが筆で字を書くことを楽しんでくれることが一番大切。楽しい七夕揮ごう会になりました」と笑顔で語られました。



集中して課題に取り組む参加者



金賞



金賞



境内に並ぶ子どもたちの思いのこもった作品

議会からのひと言

宇美町の文化を担う伝統行事として、これからも長く開催されることを願います。

Web  
アンケート

議会だより97号アンケートへのご協力ありがとうございました!

ご回答をいただいた中で「議員の活動がより町民に伝わるよう常任委員会の活動をもう少し載せてほしい」、「普段は気にしていなかった町の問題が見えてきた」、「一般質問のやり取りがきちんと書かれているのでよかった」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、今後の議会だより作成に生かしていきます。

創刊100号に向けて、これまで以上にわかりやすく、丁寧に情報をお伝えしていきますので、読まれた感想をぜひ、右部のWEBアンケートからお聴かせください。



議会傍聴メーター Gikaiboutyou Meter

2022年3月議会からの傍聴者 累計  
6月定例会は29人が傍聴に来られました

268

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫 / 委員 高橋 紳章  
副委員長 鳴海 圭矢 / 委員 安川 禎幸  
委員 安川 繁典 / 委員 小林 孝昭

議会からのお知らせ

- ◆ 議会は年4回(3月・6月・9月・12月)定例会が開かれます。
- ◆ 議会ホームページからは生中継がご覧いただけます。
- ◆ 傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入口で住所・氏名をご記入ください。

次回の議会は9月9日に開会予定です。

P2 特集 ～『このまちが、いい』を支える人々にフォーカス～

P4 6月定例会の概要  
～町民の生活に寄り添う予算～

P7 一般質問 町政を問う6人が登壇

P14 委員会活動報告



16ページに関連記事を掲載





# 『このまちが、いい』を

# 支える人々にフォーカス

犯罪や非行を防止し、  
立ち直りを支える地域の力

## 保護司会宇美支部

7月は“社会を明るくする運動”  
強調月間・再犯防止啓発月間です。  
保護司会は、保護観察官と協働し、  
保護観察を受けている人に面接を通  
じて助言や指導を行っています。

議会の注目  
point



支部長 西山和俊さん

協力雇用主や更生保護女性会  
と連携・協力しながら活動してい  
ます。保護司のなり手不足が課題  
です。地域の安全・安心なまちづ  
くりのため活動する保護司への  
ご理解とボランティア活動への  
ご協力をよろしくお願いします。



議会も薬物乱用防止に取り組んでいます

### 青パト防犯パトロール

以前は毎日のように不審者情報が  
出ていましたが、青パト巡回や地域の  
見守り隊活動の普及により、不審者情  
報の減少や自転車の窃盗などの軽犯  
罪抑止につながっています。

### 街頭啓発活動

7月1日(火)、宇美駅前広場において、  
宇美町保護司会と更生保護女性会、  
宇美町議会で社会を明るくする運動  
と薬物乱用防止の街頭啓発活動を行  
いました。



人と野生鳥獣のバランスを整え、  
農作物と住民の安全を守る

## 宇美町猟友会

宇美町猟友会は、有害鳥獣に  
よる町の農林業への被害防止や  
地域の生活環境を守るため、捕  
獲活動に取り組まれています。  
今回は原田猟友会の活動を取  
材しました。

議会の注目  
point



原田猟友会会長 小南幹雄さん

農家も高齢化が進み、捕獲  
に携わる人が減少しています。  
人材と捕獲に係る費用の確  
保が今後の課題です。



原田猟友会では、毎日20数か所の箱  
罠の巡回と管理を行い、年間100頭以  
上の有害鳥獣を捕獲しています。

### 令和6年度の捕獲頭数

イノシシ25頭、アナグマ7頭、アライグマ37頭、タヌキ9頭、その他33頭



有害鳥獣の被害は深刻で、一晩で田ん  
ぼ一反が全滅します。また、大型のイノ  
シシが人を襲う被害も頻発しています。

地元の事業者とともに歩む  
ビジネスパートナー

## 宇美町商工会

宇美町商工会は、昭和35年に設  
立。昭和40年に青年部、昭和52年  
に婦人部(現女性部)、令和2年に  
壮青年部が結成され、現在、会員、  
賛助会員あわせて約680社が加入  
し、活動されています。

町のにぎわい創設やまちづくりの根幹を  
担っていただいております、商工会はまさに宇  
美町の元気の源です。

議会の注目  
point



会長  
合屋 昭輝 さん

「商店街のにぎわいを取り  
戻し、子どもたちの笑顔  
あふれるまちになる」こと  
を願い、事業者・町民のた  
め、さまざまな取り組みを  
行っています。



事務局長  
江崎 浩二 さん

プレミアム付き電子商  
品券を活用して、新しいお  
店や、隠れた名店を幅広く  
町民に知っていただきた  
いと思っています。

### 取組内容

- プレミアム付き電子商品券や  
リフォーム券の発行
- 商工まつり・女性部による  
おもてなし事業の開催
- 商工会・宇美商業高校・町の連携による  
シャッターアート
- 3町合同で夢をカタチにする起業塾など

### 地元でがんばる町内業者にお任せください!

「安全と安心」で町民の生活を支える町内業者は、地域とのつながりもあるため万が一の際にも迅速に対応でき、信頼性が高くトラブルを未然に防ぐことができます。  
壮青年部では同年代の仲間イベントを開催したり、悩みの共有もできます。この  
街で仲間とともに明るい未来を創れたら素敵だと思います。



商工会壮青年部  
永井 勇 さん

商工会に関するお問い合わせ  
新規会員登録はこちら

### 宇美町商工会

宇美町宇美5丁目2番14号  
電話番号 092-932-0443  
FAX 092-932-7563



宇美町商工会  
ホームページ



会員事業所一覧

### 被害に巻き込まれた場合は…

一人暮らしの高齢者を狙った悪質商法による被害や商  
品契約などのトラブルの相談が増えています。一人で悩ま  
ずに、信頼できる場所への相談が大切です。



かすや中南部  
広域消費生活センター長  
笹田 さん

### お困りの際は迷わず

かすや中南部広域消費生活センターにぜひ相談

志免町志免中央1-10-10 志免町地域安全安心センター2階  
電話番号 092-936-1594 相談受付時間 10:00~15:30



町ホームページ





6月定例会

# 町民の生活に寄り添っ予算

6月定例会は、6月10日から16日までの7日間の会期で開かれ、町長から提出された令和7年度補正予算をはじめ、専決処分、人事、条例、工事請負契約締結などの12議案と議員発議1件を全て原案どおり可決しました。

一般質問では6名の議員が町政全般にわたって8項目の質問を行いました。



原田小学校 七夕お楽しみ給食

## 物価高騰対策

一般会計  
補正予算

### 小学校給食費値上分 物価高騰対応給付費

増額

1628万円

令和7年4月からの給食費改定分について、国の物価高騰重点支援地方創生対応臨時交付金を活用し、保護者の負担を現行の額に据え置くことにより、子育て世代の負担軽減を図る。

※令和7年度給食費一食当たり360円  
(保護者負担280円、町負担80円)

問

中学校の弁当給食の費用にも物価高騰の影響が出ているのではないかと、令和7年4月からの中学校給食費については、6年度給食費分の金額(一食あたり320円)で賄えているため、値上げはしていない。  
(保護者負担280円、町負担40円)

答

中山 俊太 さん  
(保護者)

物価高で家計負担が増す中、給食費の一部を負担するのは現実で思いやりのある対応だと思っています。給食は子どもの成長に直結し、各学校で作られた温かい食事が取れるのも良い点です。今後も支援が続くことを期待します。

一般会計  
補正予算

### 上水道基本料金減免(3か月分)に伴うシステム改修業務委託

増額

50万円

エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けている事業者や住民の生活を支援するための上水道基本料金減免の実施に伴うシステム改修。

工事請負  
契約締結

### 宇美東中学校校舎外壁等改修工事

築38年が経過した宇美東中学校の外壁・屋上防水の改修、屋外照明のLED化工事などを行う。

1億8480万円  
で契約

問

アスベスト含有と対策は。生徒への安全対策を十分に講じたうえで、できるだけ工期を短縮し、学業への影響を最小限にしてほしい。

答

アスベスト調査を行っており検出されなかった。業者との打ち合わせを密にし、安全に配慮しながら早期の完成を目指す。

一般会計  
補正予算

### 総合スポーツ公園 夜間照明設備 LED化改修事業

増額

6920万円

経年劣化により当公園内の照明が機能していないため、スポーツ振興くじ助成金などを活用し、施設夜間利用者の安全面を考慮したLED化の改修工事を行う。

坂元 啓二 さん  
(保護者)

長い間たくさんの生徒たちを見守ってきた校舎が、綺麗に改修されることを、地域の一人として嬉しく思います。これからも子どもたちが安心して通える場所であるように、私たち大人もできることを続けていきます。

議員発議

### 宇美町議会ハラスメント防止条例 検討特別委員会の設置

議会におけるあらゆるハラスメントを未然に防止し、根絶することにより、町民から信頼される議会の実現を図る。

委員長  
副委員長  
委員安川 禎幸  
丸山 康夫  
鳴海 圭矢  
安川 繁典  
高橋 孝昭  
小林 孝昭

### 教育委員会委員の任命

木庭 佳奈 氏(新任)

一般会計  
補正予算

### 読書のまちづくり推進事業

図書館・学校図書館と地域による読書のまちづくり推進事業委託金を活用し家読(うちどく)セット、読書バリアフリーセット、町内施設・地域向け配本セット用の図書を購入する。

増額

101万円

財産の  
取得

### 第6分団消防ポンプ車両購入

消防ポンプ車の老朽化に伴い、車両の更新を行う。

2497万円  
で契約宇美町消防団  
第6分団長  
竹内 文樹 さん

普通免許で運転できる新車両の導入により、免許を有する全団員が運転可能となり、災害時の迅速な出動が期待できます。分団で訓練を重ね技術の向上を図り、多種多様な災害に対応できるよう取り組んでいきます。



一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

掲載内容は、質問者自身が要約し、広報常任委員会で校正しています。

高橋 紳章 議員 ..... 8P

◆介護予防と生きがいづくりの  
今後の方向性は

白水 英至 議員 ..... 9P

◆校区コミュニティに対する支援の強化を

黒川 悟 議員 ..... 10P

◆防犯灯電気代等の公費負担を

鳴海 圭矢 議員 ..... 11P

◆子ども医療費助成のさらなる拡充を

丸山 康夫 議員 ..... 12P

◆交流人口を増やして町を元気にする施策は

安川 禎幸 議員 ..... 13P

◆「宇美町こども計画」と  
町の子育て施策の将来像は

一般質問

町政を問う6人が登壇



議会をもっと身近に  
ライブ配信・録画配信をご視聴ください

宇美町議会では、議場で行う議会・特別委員会のライブ配信と録画配信を行っています。

ライブ配信は、傍聴に来られない方のために生中継で配信しています。

録画配信は、議会のホームページから議案審査や一般質問の様子をいつでもご覧いただけます。字幕付きですので音声聞き取りにくい方でも、分かりやすくご覧いただけます。



ライブ配信・録画配信は  
こちらから

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 × は反対を表しています

| 議員名                                             | 小林 孝昭 | 安川 禎幸 | 高橋 紳章 | 丸山 康夫 | 平野 龍彦 | 安川 繁典 | 入江 政行 | 黒川 悟 | 鳴海 圭矢 | 白水 英至 | 藤木 泰 | 審議結果 | 討論など              |
|-------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|-------------------|
| 議案名                                             |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |                   |
| 専決処分の承認<br>(町税条例の一部改正)                          | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ×     | ○     | ○    | 承認   | 反対：鳴海<br>賛成：安川(禎) |
| 専決処分の承認<br>(宇美町国民健康保険税条例の一部改正)                  | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ×     | ○     | ○    | 承認   | 反対：鳴海<br>賛成：安川(禎) |
| 専決処分の承認<br>(令和6年度宇美町一般会計補正予算(第10号))             | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 承認   |                   |
| 専決処分の承認(財産の取得(情報機器等))                           | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 承認   |                   |
| 宇美町教育委員会委員の任命                                   | —     | —     | —     | —     | —     | —     | 欠     | —    | —     | —     | —    | 同意   | 無記名投票             |
| 財産の取得(第6分団消防ポンプ車)                               | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 可決   |                   |
| 財産の取得(防災トイレトラック)                                | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 可決   |                   |
| 工事請負契約の締結<br>(令和7年度 宇美東中学校校舎外壁等改修工事)            | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 可決   |                   |
| 宇美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 可決   |                   |
| 令和7年度 宇美町一般会計補正予算(第1号)                          | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 可決   | 賛成：鳴海             |
| 債権放棄の報告                                         | —     | —     | —     | —     | —     | —     | 欠     | —    | —     | —     | —    |      |                   |
| 令和7年度 宇美町一般会計補正予算(第2号)                          | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 可決   |                   |
| (発議第2号) 宇美町議会ハラスメント防止条例<br>検討特別委員会の設置及び選任に関する決議 | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○    | ○     | ○     | ○    | 可決   |                   |

※古賀ひろ子議長に表決権はありません。



討論

反対 鳴海 圭矢 議員

専決処分は安易に行うべきものではない。まして町税といった町民生活に大きな影響を与えるものに関しては慎重に行うべきだ。

今回の改正で扶養家族の特別控除の創設が行われているが、学生へさらに労働を求めるような内容にも捉えられる。

本来ならば、学生が生活の不安を抱えず勉学に専念できる環境を国や自治体が整備するべきでないか。



専決処分の承認  
町税条例の一部改正

賛成 安川 禎幸 議員

今回の専決処分は、国の法令改正の公布から施行するまでの間に議会を招集するいとまがなかったことから妥当であったといえる。

また、改正内容には、住民税の控除額の引き上げが盛り込まれており、今までの国民の声が反映されているのではないかと思います。

総務建設常任委員会 新人事

総務建設常任委員会 副委員長 安川 繁典 議員

議会運営委員会 新人事

議会運営委員会 委員 鳴海 圭矢 議員



## 校区コミュニティ



### 私の視点「なぜここを質問したか」

小学校区コミュニティ運営協議会は、設立後約10年経過。校区コミュニティと自治会との連携がうまく機能していないとの声を聴くが、町の支援状況を問う。

## 校区コミュニティに対する支援の強化を

しろろず えいじ 白水 英至 議員



答弁 (町長) 支援の在り方を再議論し、推進計画に反映させたい

録画配信は  
こちらから▶

- 問** 町が行ってきた校区コミュニティに対する支援内容は、地域コミュニティ課長
- 答** 地域コミュニティ交付金（自治会活動費を含む）を交付。先進地域へ視察、県や町主催の研修会を実施。
- 問** 町が行ってきた支援の成果をどう感じているか。
- 答** 地域コミュニティ課長 校区コミュニティが目指す姿を明確にし、事業展開されている。ある校区コミュニティは、実行委員会形式など組織を改編してスリム化が行われ、企業などの団体とのつながりも広がっている。
- 問** 校区コミュニティと自治会との連携がうまく機能していないという声に対する町の対応は。
- 答** 地域コミュニティ課長 校区コミュニティと自治会の受け持つ役割などを把握し、各
- 問** 介護予防教室の周知や申込方法は。
- 答** 健康課長 町や社会福祉協議会ホームページのほか、社協だより、高齢者便利帳、認知症ケアパスといった冊子に掲載。また、各自治会を対象者へのお声掛けをお願いしている。
- 問** 介護予防教室利用者の送迎は。
- 答** 健康課長 利用者は基本的に自身で会場まで来ることが条件であるが、今年度から利用者の送迎を開始。今後も利用者の実情に寄り添いながら柔軟に対応していく。
- 問** 介護予防教室でのセルフメデイケーションの推奨や運動機能改善などの充実を図り、利用者を増やす取組が必要であると考えるが、介護予防と生きがいづくりの今後の方向性は。
- 答** 健康課長 事業の目的の再確認と内容の整理が必要だと考える。当課のコーディネーターを中心に支援していきたい。
- 問** 町、各種団体、校区コミュニティの連携を密にし、減少傾向にある地域のスポーツ行事などの実施に取り組んでは。
- 答** 地域コミュニティ課長 町は、関係機関や各種団体と連携してスポーツ行事の実施に取り組んでいる。今後もスポーツ行事も考えるが、地域祭りや親子イベントなどの盛り上がる行事を取り入れることなどを提案しながら総合的に実施できればと考える。
- 問** 町が考える校区コミュニティの今後の方向性は。
- 答** 町長 宇美町地域コミュニティ推進計画は、策定から10年が経過している。また、社会情勢も想定より早いスピードで変化しており、今年度はこの計画の改定を予定している。

質問を終えて  
校区コミュニティやスポーツ協会、他団体と協議され、スポーツで元気あるまちづくりを期待する。



町民と共に歩みを進めてきた共働のまちづくり

原点に立ち返り、町民の皆さんと時間をかけて議論して進めてきた共働のまちづくりの考え方や地域コミュニティへの支援の在り方を改めて議論し、計画に反映させていきたい。

## 介護予防

### 私の視点「なぜここを質問したか」

本町の高齢化は今後ますます進む。自分の身体は自分で管理するといった、いわゆる「セルフケア・セルフメディケーション」の環境を整えることが必要と考える。



たかはし のぶあき 高橋 紳章 議員



## 介護予防と生きがいづくりの今後の方向性は

答弁 (町長) 主体的に予防に取り組める環境づくりを進める

録画配信は  
こちらから▶

- 問** 各小学校区での介護予防教室の開催状況と利用者数の現状は。
- 答** 健康課長 小学校区ごとに毎週1回、1時間程度の時間で開催。登録者数は令和7年4月時点で合計285人、前年度に比べ40人増。
- | 各小学校区  | 登録者数 |
|--------|------|
| 宇美小校区  | 44人  |
| 井野小校区  | 30人  |
| 桜原小校区  | 72人  |
| 宇美東小校区 | 80人  |
| 原田小校区  | 59人  |
- 問** 福祉サポーターの登録者数は。
- 答** 健康課長 令和6年度末時点で福祉サポーターの登録者数は72名。
- 問** 町が考える福祉サポーターの役割はどのようなものか。
- 答** 健康課長 主な活動は介護予防教室の運営支援が中心。本来の役割はこうした活動にとどまらず、地域の中でより本質的な支援活動に携わることと考える。
- 問** 介護予防教室でのセルフメデイケーションの推奨や運動機能改善などの充実を図り、利用者を増やす取組が必要であると考えるが、介護予防と生きがいづくりの今後の方向性は。
- 答** 健康課長 介護予防教室利用者の送迎は。利用者は基本的に自身で会場まで来ることが条件であるが、今年度から利用者の送迎を開始。今後も利用者の実情に寄り添いながら柔軟に対応していく。
- 問** 介護予防教室の周知や申込方法は。
- 答** 健康課長 町や社会福祉協議会ホームページのほか、社協だより、高齢者便利帳、認知症ケアパスといった冊子に掲載。また、各自治会を対象者へのお声掛けをお願いしている。
- 問** 介護予防教室利用者の送迎は。
- 答** 健康課長 利用者は基本的に自身で会場まで来ることが条件であるが、今年度から利用者の送迎を開始。今後も利用者の実情に寄り添いながら柔軟に対応していく。
- 問** 介護予防教室でのセルフメデイケーションの推奨や運動機能改善などの充実を図り、利用者を増やす取組が必要であると考えるが、介護予防と生きがいづくりの今後の方向性は。
- 答** 健康課長 事業の目的の再確認と内容の整理が必要だと考える。当課のコーディネーターを中心に支援していきたい。
- 問** 町、各種団体、校区コミュニティの連携を密にし、減少傾向にある地域のスポーツ行事などの実施に取り組んでは。
- 答** 地域コミュニティ課長 町は、関係機関や各種団体と連携してスポーツ行事の実施に取り組んでいる。今後もスポーツ行事も考えるが、地域祭りや親子イベントなどの盛り上がる行事を取り入れることなどを提案しながら総合的に実施できればと考える。
- 問** 町が考える校区コミュニティの今後の方向性は。
- 答** 町長 宇美町地域コミュニティ推進計画は、策定から10年が経過している。また、社会情勢も想定より早いスピードで変化しており、今年度はこの計画の改定を予定している。

質問を終えて  
介護予防教室の活動内容の充実と誰もが参加しやすい環境を整えることで、セルフケアの意識が高まることを期待する。



元気アップ体操（介護予防教室の様子）

**答** 町長 今年度から運動機能の維持・向上を目的とした新たな介護予防プログラムの導入について協議を始めている。保健事業と介護予防を一体的に捉え、ライフステージに応じた切れ目のない支援を提供し、町民の皆様が健康に関心を持ち、主体的に介護予防に取り組んでもらえるよう環境づくりを進めていく。



## 子ども医療費



### 私の視点「なぜここを質問したか」

近隣でも高校生世代まで医療費助成を行う自治体が出てきた。宇美町も子育てしやすい町を目指すのであれば、拡充は喫緊の課題ではないか。

なるみ けいや  
鳴海 圭矢 議員

## 子ども医療費助成のさらなる拡充を

答弁 (町長) 国や県、近隣自治体の動向を注視したい

録画配信は  
こちらから▶



- 問** 本町の高校生世代の人数は。 **答** 住民課長 本年4月1日時点では1159人。
- 問** 国保特別会計の中で中学生以下の医療費と割合は。 **答** 住民課長 令和6年度の実績は、総医療費約28億7000万に対して2億3000万円であり8%となる。
- 問** 高校生世代までの医療費を無料化した場合、どの程度の予算が必要になるか。 **答** 住民課長 令和7年度の子ども医療費歳出予算は、約1億7000万円。助成を高校生世代まで拡大して、自己負担なしとした場合、約2億2000万円となり約5000万円増となる。これにシステム改修などの事務費が別途約400万円かかる見込み。
- 問** 自治会の要望により設置した防犯灯の台数。また、LED化率と完全LED化の時期は。 **答** 都市整備課長 自治会の要望で設置した防犯灯の数は約2580台。町内全体のLED化率は令和7年3月末現在、77・33%で、約2年後に完全LED化の見込み。
- 問** 自治会で費用負担している防犯灯の電気代や消防団活動費を、平等性の観点から公費負担とする考えは。 **答** 町長 電気代については、LEDの実施効果を見極めたうえで、状況を調査し検証していきたい。消防団活動費については、消防団運営交付金要綱の改正で、各分団に支払われている交付金は役職や人数に応じて交付されており、円滑な消防団運営が図られているため、現時点では公費増額は考えていない。いずれにしても二つのご提案については、公平性を担保し、日々検証を続けていく。
- 問** 高校生世代までの医療費が無料になれば、子育て世代の定住促進や人口増加といった町の活性化につながるかと考えるが、町の考えは。 **答** 住民課長 医療費助成の拡充は少子化対策、子育て世代の定住促進や町の人口増加、子育て家庭への経済的支援として有効であることは十分に認識している。一方、医療費を無料にすると受診件数が増えるという国の分析もあるため、医療費削減の観点から自己負担は必要であるという見方もある。
- 問** 子育てしやすい町の実現のためには、子ども医療費助成拡充を前に進めていく必要があると思うが、町長の考えは。 **答** 町長 高校生までの医療費の助成が全国的に拡大傾向であることは認識している。本来ならば、これは国が予算をしっかりと担うべきである。次代を担う大切な子どもたち



質問を終えて  
今後、高校生世代の医療費助成拡充は広がっていくと思われる。本町も現状にとどまることなく、積極的な姿勢を示してほしい。



子どもたちが安心して医療を受けられる町に

が必要な医療サービスを公平に受け取ることができるように国や県、糟屋郡内の動向を注視していく必要がある。

## 自治会



### 私の視点「なぜここを質問したか」

自治会加入者が負担している防犯灯の電気代や消防団活動費は平等性の観点から、公費負担が適当だと考え、見解を求める。

くろかわ さとる  
黒川 悟 議員

## 防犯灯電気代等の公費負担を

答弁 (町長) 公平性を担保し、日々検証していく

録画配信は  
こちらから▶



- 問** 自治会の要望により設置した防犯灯の台数。また、LED化率と完全LED化の時期は。 **答** 都市整備課長 自治会の要望で設置した防犯灯の数は約2580台。町内全体のLED化率は令和7年3月末現在、77・33%で、約2年後に完全LED化の見込み。
- 問** 自治会加入率の推移は。 **答** 地域コミュニティ課長 現在68・33%で、前年度比約2ポイントの減少となっており、今後も加入率は低下していくと推察している。
- 問** 転入世帯に対する自治会加入促進は重要と考えるが取組は。 **答** 地域コミュニティ課長 新たに宅地開発が行われる際、不動産会社や開発業者と事前協議を行う段階で、自治会加入促進の要請を行っている。役場窓口でチラシを配布するとともに、地域コミュニティ情報
- 問** 自治会で費用負担している防犯灯の電気代や消防団活動費を、平等性の観点から公費負担とする考えは。 **答** 町長 電気代については、LEDの実施効果を見極めたうえで、状況を調査し検証していきたい。消防団活動費については、消防団運営交付金要綱の改正で、各分団に支払われている交付金は役職や人数に応じて交付されており、円滑な消防団運営が図られているため、現時点では公費増額は考えていない。いずれにしても二つのご提案については、公平性を担保し、日々検証を続けていく。



質問を終えて  
住民全てが受益者であり、平等性の観点からも検討すべき課題だ。今後のさらなる協議を期待したい。



犯罪防止や交通安全のための防犯灯



## 子育て



### 私の視点「なぜここを質問したか」

今年度、国が制定した「こども基本法」「こども大綱」を踏まえた「宇美町こども計画」が策定された。今後の宇美町の子育て施策についてお尋ねしたい。

やすかわ よしゆき  
安川 禎幸 議員

録画配信は  
こちらから▶



## 「宇美町こども計画」と町の子育て施策の将来像は

答弁 (町長) こどもまん中のまちづくりを進めたい

**問** 新規事業の中で町が力を入れたい部分は。  
**答** こどもみらい課長  
一つ目の子育て短期支援事業では、保護者の疾病や育児疲れなどで一時的に養育が困難になった場合に、施設で一定期間子どもを保護する「子どもショートステイ事業」など。令和7年4月より利用開始している。



**問** 「宇美町こども計画」の趣旨は。  
**答** こどもみらい課長  
妊娠から青年期までライフステージごとに支援やサービスを届ける。  
また、社会全体で、こども・若者、子育て世帯を見守り、効果的なこども施策を推進する。

**問** こども・若者の居場所づくりとは。  
**答** こどもみらい課長  
昨年実施した若者トークカフェやこども会議を通じて、居場所づくりの提案を受けた。中高生の居場所は町内一か所で気軽に自由に過ごせる場所、小学生の居場所は長期休業中に各小学校区で学習の場の提供と

**問** 「こども家庭センター」と「子育て支援センター」の今後は。  
**答** こどもみらい課長  
こども家庭センターは妊娠から子育て、就学前に至る相談支援にワンストップでアクセスできる窓口。  
子育て支援センターは就学前の親子が自由にすごせる施設。今後も機能、相談支援体制の充実強化を図る。

**問** 二つ目のこども誰でも通園制度は、現行制度に加え一定の利用枠内で保育園・幼稚園の通園ができる。令和8年度の本格実施に向けて準備を進めている。  
**答** こどもみらい課長  
二つ目のこども誰でも通園制度は、現行制度に加え一定の利用枠内で保育園・幼稚園の通園ができる。令和8年度の本格実施に向けて準備を進めている。

体験活動を実施する。

**問** 子ども・子育て支援条例の見直しは。  
**答** こどもみらい課長  
理念や内容の変更などが生じた場合は、条例の改正を検討する必要がある。

**問** 宇美町の子育て施策の将来像は。  
**答** 町長  
「宇美町こども計画」では「こどもまん中のまちづくり」を目標としている。  
こども会議で子どもたちが提案した子どもの居場所を実現するのが私の仕事。子どもたちが「宇美町が大好きなんだ」と胸を張って言えるまちにしたい。

質問を終えて  
「宇美町こども計画」は今後の宇美町の子育て施策を推進する重要な計画である。今後の取組に期待したい。

## 交流人口



### 私の視点「なぜここを質問したか」

本町は観光資源やスポーツ資源も豊富であるが、その資源を生かし切れていない。交流人口を増やし、町を元気にしていくための方策を問う。

まるやま やすお  
丸山 康夫 議員

録画配信は  
こちらから▶



## 交流人口を増やして町を元気にする施策は

答弁 (町長) 福岡J・アンクラスと連携を進める

**問** 本町の入込客数の推移は。  
**答** シティプロモーション課長  
コロナ禍の令和2年は73万人と減少したが、令和6年度は約120万人で過去最高となった。  
**問** これまでに取り組んできたプロモーション事業は。  
**答** シティプロモーション課長  
公式インスタグラムの開設をはじめ、ホームページのリニューアル、10年ぶりの観光パンフレット発行など情報発信に力を入れている。  
**問** 国指定特別史跡「大野城跡」の日本遺産再登録を目指す考えは。  
**答** 原田副町長  
再申請は、最速で令和7年度末に行い、令和8年度の審査となるが、この最短ルートで評価審査委員会が求めている課題を解決し、改善策が提示できるかどうかは、現在のところ厳しい状況だ。

**問** 本町唯一の国指定重要文化財である四王寺山から出土した  
**問** 国指定重要文化財の展示を行うには、町立歴史民俗資料館の大規模な改修工事が必要であり、大変難しい。  
**答** 経筒が保管されている九州歴史資料館へのバスツアーを計画するなど、周知に努めたい。  
**問** 一本松公園の活用策は。  
**答** 都市整備課長  
一本松公園は、都市計画マスタープランにレクリエーション拠点として位置付けており、今後は緑の基本計画に機能拡充を盛り込む。  
その後は、国の交付金を活用して基本設計に着手する。

質問を終えて  
女子サッカーチームのホームタウン誘致を契機に、スポーツツーリズムの力で多くの方を宇美町に呼び込みたい。



6月30日に福岡J・アンクラスと協定締結

向けて準備を進めている。  
本町がホームタウンとなることで、地域活性化の起爆剤になると確信している。



## 司書が支える「読書まちづくり推進事業」

読書活動は全ての学習の基盤である言語能力を育むが、全国的に読書活動を取り巻く環境は厳しい状況にあり、本離れや活字離れが進行している。

当委員会としては、読書離れという課題に対する町の取組内容を重要視している。

そこで、日ごろから子どもたちの読書を支え、将来にわたって豊かな学びと心を育むためにさまざまな読書環境づくりに取り組まれている社会教育課図書館系の活動を追った。



文部科学省から指定(採択)を受けた本町

### 司書が支える取組事業の一つ「各小中学校との連携」を取材

7月5日(土)、うみ・みらい館 多目的ホールで小学生読書リーダー養成講座・中学生読書サポーター養成講座合同開講式が開催された。

司書の皆さんは「定期的に本の配置を変えるなどしています」と、常に利用者の興味を喚起する努力を惜しまない。

この日行われたのは、本の魅力を伝えるPOPの作成講座。参加した子どもたちからは「本の面白さをほかの人にも知ってほしい」などの声が聞かれた。

読書の魅力を伝える力を身に付けようと励む児童・生徒の姿勢は、とても頼もしく感じた。



熱意に満ち溢れた学校司書・図書館司書の皆さん



真剣に取り組む子どもたち



どんなPOPを作ろうかな！



#### さらなる環境づくりに期待！

町は、文部科学省が実施する「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」へ応募したところ高評価を受け、九州から唯一、本町が採択された。今後さらに、学校司書・図書館司書が中心となって行う読書活動を通じた地域コミュニティ活性化の発展に期待したい。

## 防災リーダー育成につながる議会防災訓練を実施

当委員会は昨年11月に「防災リーダーの育成(自主防災組織)」をテーマに愛媛県松山市の視察・研究を行った。また、本年2月に粕屋南部消防署で「宇美町における地域防災リーダー育成などの地域防災力向上について」をテーマに粕屋南部消防署、町、議会の三者で意見を交換した。

その後、毎年実施している議会防災訓練を6月16日(月)の6月定例会終了後に行った。全議員で粕屋南部消防署職員と町(地域コミュニティ課)防災アドバイザーの協力のもと、防災に関する知識や技術向上を目的とした訓練を行うことで、全議員の防災スキルを向上させた。

訓練では、応急手当、心肺蘇生、AEDの取扱いの救急講習終了後に、胸骨圧迫とAEDを使用しての実技指導や、徒手搬送、応急担架の作成・搬送などの負傷者搬送訓練の実演講習を受けた。



身近なAEDの設置場所をご確認ください  
(役場では総合案内横)



お世話になった粕屋南部消防署職員の皆さん



応急担架で、負傷者を搬送



①人を集める ②119番通報 ③AEDを持ってくるよう指示



胸骨圧迫は腕を伸ばして1分間に100~120回



#### 地域の皆さんへ発信！

防災リーダー育成のため、防災士の資格を取得した議員(現在8名取得)が中心となって、議会として今後も各地域住民に防災に関する情報を発信していきたい。